

学校教育目標「自分を育て 人とつながり 自己実現する児童生徒の育成」

# まなびの森



廿日市市立吉和小・中学校 校長通信



【第1号】R4.4.25.

校長 戸崎志乃婦

## 自分を育て 人とつながる

令和4年度がスタートしました。新しい学年、新しい先生との出会いの中で、新しく学びを進め、新しい自分を発見してほしいと思います。



さて、広島県教育委員会から出されたリーフレットには、中学校を卒業するときに付けておいてほしい力「**自己を認識する力**」「**自分の人生を選択する力**」「**表現する力**」とあります。(令和5年度入学生徒にかかる公立高高等学校入学者選抜の実施内容が変わります。裏面にリーフレットを掲載しています。)

自分とはどういう存在で、何に興味をもち、何を学びたいと考えているのか。そのためにはどんなことが必要で、何を選択して、どういう大人になっていくのか。児童生徒が学びの主体になっていけるような授業をつくっていくことが学校には求められていますし、児童生徒自身にも、自覚をもって学習に取り組んでいてもらいたいと思います。

また、コロナ禍で2年間も生活する中で、ずいぶん学習や生活、行事に制限がかかりました。密を避けるということで、人と人の距離を離さざるを得ない状況がありました。その結果、ICTの活用がこれまで以上に増えて、オンライン交流会などは当たり前になるようになってきました。一人一台のタブレットを児童

生徒が自在に使いこなす姿はとても頼もしいですし、児童生徒ができることの可能性も増えています。直接触れ合わなくても、人と人とはつながれるように工夫ができると実感もしてきました。今年度も、吉和地域、廿日市市、広島県内外、韓国等、様々な地域と学習の交流をしていきます。新しい地域や人とのつながりを児童生徒自身が主体となって進めていきます。

昨年度、このような活動を重ねて改めて感じたことは、「吉和地域という場所が、お互いがよく知り合っていて、よく声をかけてもらい、一緒に行事の準備をし、楽しみ、つながりを深めている場所であり…そのよさ、温かさに学校が支えられている」ということでした。今後も社会は急速に変化し、ICTの技術も格段に進化していくことでしょう。その中であってまなお、人は人と直接ふれあい、つながることから感じ、学び、自分や周りを育てていくものだと思います。新型コロナウイルス感染症対策はこれまで同様行っていますが、この2年間で培ってきた知恵を最大限に活かしながら、子ども達と一緒に新しいチャレンジをしていきたいと思っています。



吉和小・中学校は、吉和地域で9年間の義務教育を担う学び舎としての誇りをもち、全教職員で全児童・生徒を育てていきます。本年度も引き続きよろしくお願いたします。